

日本慢性疾患セルフマネジメント協会が 第 1 回 Sanofi - Rainbow Across Borders Asia Pacific Award グランプリを受賞しました

Sanofi - Rainbow Across Borders Asia Pacific Award 授賞式

日時：2015 年 10 月 15 日（木）19：00～22：00

場所：Carlton Hotel Singapore (76 Bras Basah Road, Singapore, 189558)

公式サイト <https://partnersinpatienthealth.com/contest.aspx>

特定非営利活動法人 日本慢性疾患セルフマネジメント協会（事務局：東京都港区、理事長：伊藤雅治）は、第 1 回 Sanofi - Rainbow Across Borders Asia Pacific Award グランプリを受賞いたしました。

同賞は、本年、パリに本社を置くグローバル製薬企業のサノフィ社と、シンガポールを本拠地とする患者支援団体 Rainbow Across Borders が協働して創設した賞で、アジア太平洋地域における患者会／患者支援団体の成功事例の共有を目的とし、慢性疾患を持つ人たちの健康改善に貢献する取り組みを顕彰するものです。

今回、同賞の選考にはアジア太平洋地域の 12 カ国から 58 の活動がエントリーされました。選考基準は ①その活動のデザインや内容が優れていること、②その活動が結果を出し社会に影響を与えていること、③その活動（からの学び）を他の団体が再現可能であること、の 3 点で、選考委員による採点の結果、上位 10 組（インドネシア 2、香港 2、日本 1、台湾 1、ベトナム 1、フィリピン 1、中国 1、タイ 1）がグランプリとして表彰されました。

本会は、今回の受賞を励みに、慢性疾患（難治性疾患、がん、生活習慣病など）をもつ人たちの自己管理支援に、更なる取り組みをしてまいる所存です。今後とも、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



●受賞団体一覧

	Project Name	Country	Association
1	Chronic Disease Self-Management Program in Japan	Japan	Japan Chronic Disease Self-Management Association
2	Cancer Survivor s Supportive Care and Empowerment Program	Taiwan	Formosa Cancer Foundation
3	Community Network in Palliative Care ("CNPC")	Indonesia	Rachel House
4	FamilyLink Edu. Program for Careers of Psychiatric Patients	Hong Kong	Hong Kong FamilyLink Mental Health Advocacy Association
5	Shelter Home for Cancer Patients	Indonesia	Cancer Information and Support Center
6	Cancer Rehabilitant “Back to society, Help the society” program	Hong Kong	Hong Kong Healthcare Alliance
7	Children's dreams	Vietnam	Be Khoe Be Ngoan
8	Annual Summer Diabetes Camp ASDC	Philippines	Rainbow Camp Foundation Philippines Inc
9	Rare + Leader	China	Chinese Organization for Rare Disorders
10	Pediatric Cancer support group	Thailand	Wishing Well Foundation

●日本慢性疾患セルフマネジメント協会について

2005年に任意団体として設立、2006年にNPO法人格を取得。

慢性疾患をもつ人たちが自己管理の自信と技術をもち、生活の質を改善できるよう支援することを目的に、米国スタンフォード大学医学部患者教育研究センターが開発した「慢性疾患セルフマネジメントプログラム(CDSMP; Chronic Disease Self-Management Program)」を用い、自己管理支援のワークショップを開催している。2015年7月末日現在、全国で188回のCDSMPワークショップを開催し、受講者総数は1,802名。受講者の主な疾患は、難治性疾患（膠原病、関節リウマチ、線維筋痛症、潰瘍性大腸炎、パーキンソン病、脊髄小脳変性症、肝炎、腎不全など）や、生活習慣病（糖尿病、高血圧など）、がん（乳がんなど）など、長期にわたる療養が必要な慢性疾患。

CDSMPの効果については、日本では厚生労働科学研究費を取得した調査研究などから、主観的健康観や服薬アドヒアランス、健康に関する悩み、ストレス対処能力の改善、運動時間の増加などが示唆されている。